

8/20.21

## マイナーカード受診

### コンピューター不具合

### 3割負担誤表二示

医療機関でマイナンバーカードを使って受診の受け付けをした場合、患者が所得にかかる情報

の提供に同意しないと、本当は1/3割負担などの割負担などと誤った負担割合が表示されるコンピューターシステムが一部機種になり、医療現場が混乱している。千葉県船橋市の船橋二和病院付属ふたわ診療所では。(内藤真口子)

た高齢者が次々に3割負担とコンピューター端末に表示され、驚き出した。紙の

情報提供の同意 患者がカードリーダーを

## 「保険証廃止はあり得ない」



マイナンバーカードのカードリーダーが置かれた船橋二和病院付属ふたわ診療所の外  
来受付=千葉県船橋市

操作する様子を確認し、コンピューターシステム業者とやり取りするなかで、不具合の理由が分かりました。カードリーダーにマイナンバーカードを置くと、患者は本人確認の方法をはじめ、複数の項目で選択を求められました。たしかに「高額療養費制度」を利用するかどうかも問われます。所得に応じて3ヶ月の自己負担限度額を定めたものです。「利用するへ進むと」「限度額情報」を提供しますか?」と問われます。ここで、「提供しない」を選択すると、誤った割負担割合が表示されるのです」と近藤さん。

原因が分かつてからはマイナンバーカードを受け付けする人に職員がつきつかりになり、限度額情報が表示されることがあります。同診療所が18日、レセコン業者に問い合わせたところ、9月に改修する予定と回答しました。マイナンバーカードでの受け付け開始から半年近く後です。

近藤さんは訴えます。「マイナンバーカードによる保険資格の確認は、さまざまな問題で問題が起きる可能性がある」と分かってきました。保険証が廃止されれば、誤りだと気づいたことはできません。保険証廃止はあり得ない。存続させるべきです」

同診療所は今年4月からカードリーダーを設置し、そのため待合室に患者さんを探しに行ったり、大変でしけ付けを始めました。すぐ問題が発生しました。事課主任の近藤純さん(46)です。

「先月まで3割負担だった高齢者が次々に3割負担とコンピューター端末に表示され、驚き出した。紙の